

題：情報伝達目的の自由化

名前：

私は、新聞や雑誌による情報伝達手段は現在においても必要と考える。その根拠としてインターネットによる情報配信手段しかなく、なってしまうと、情報伝達目的が達成できなくなってしまうという点が挙げられる。

では、情報伝達目的とは何だろうか。私は、第一に、「公正かつ公平であり、取り上げる内容に偏りのない」社会現象を伝達することが二つに該当すると考える。第二に、読者の知を構築することも二つに該当すると考える。すなわち、このような目的をインターネットニュースのみでは達成することができないため、新聞等が必要だと考えるのである。

すると次に、なぜインターネットニュースでは、このような目的を達成できないのか問題になる。

この点について考えると、一方で、インターネットニュースは、誰でも配信することが可能であるから、多くの情報が配信されるこ

とになり、かえ、上記の目的も達成し易くなるのではないかと考える。しかし、このような目的は単に情報の量が多くなるだけでは達成できず、その質を保つことが重要だといえる。そして、インターネットニュースは配信主体の制限がない以上、同時に、社会的な責任を負わねばならないといえる。すると、この手段によれば、情報の公平さを担保する手段が欠けることになる。したがって、この手段では情報伝達目的が達成できないことになる。

他方、新聞等の手段によれば、この目的は達成できるのか問題になるが、私は、この手段によって、情報伝達目的が達成できると考える。なぜなら、新聞や雑誌を出版できるのは、一般的に出版社・新聞社などに限られるところ、これは大きな社会的責任を担っているからである。すなわち、彼らは限られた情報伝達主体であるから、偏りのある報道等をした場合、法的には別段、社会的には

1800字

読み手による弾圧を受けることはできません。したがって、伝達者はその目的を達成できるように新聞等と出版するしかないことになる。すると、ここから新聞等によつて、た場合は上記の目的達成が担保されているといえる。以上から、新聞・雑誌は、現在においても必要である。